

## 入間市公共施設マネジメント学校統合地区検討会議（宮寺・二本木地区）意見書（集計結果）

## 【小学校の統合について】

- ・両校とも歴史や住民の様子が異なるため、それぞれの良さを活かした学校があっても良いと思う。
- ・宮寺・二本木地区の人口の推移、市の財政状況を考えると未来のために統合が必要であると思うようになった。
- ・両校とも歴史があり、多くの卒業生も近隣に居住しており、地域の方々の心の拠り所となっている。土地利用も両地区とも小学校を中心とした広がりを見せている。できればこのまま2校とも存続できれば望ましいと思うが、市の財政状況や少子化などの社会情勢の変化により、小学校を2校とも存続させることが難しいのであれば、小学校を統合することは仕方のないことだと思う。
- ・どうしても統合が必要なのか、少し立ち止まって考えてみてはいかがか。
- ・宮寺小学校と狭山小学校の中間地点に学校用地を確保して統合する事に賛成である。市が検討している公共施設マネジメントは必要であり避けることができない課題である。その中で小学校は地域の中心的な存在であると思うが、全体のバランスを考えると小学校だけを特別扱いすることはできないと考える。
- ・新たに学校用地を確保して新設することは、現在抱えている諸課題をある程度解決できる。  
（例）①安全な通学路が確保できる（学校周辺の整備区間）  
②ハード面での学習環境が整備でき今後の環境変化にも対応しやすい  
③今後の少子化問題に対してもある程度の規模が確保できる
- ・学校統合は、今後市内共通の難しい課題になるのだろうが、地域の人々にとって、学校は精神的支柱であり、地域文化の核であり、簡単には切り取れない幅広い役割を持って積み重ねられていると思う。最も大切にされるべき「子どもたちの安全安心を守り新しい時代の子ども作り」の場であり住民の支柱である場所を変更するというのであれば、かなり慎重な行政が期待される。
- ・今後、各地で統合問題が続くであろうが、「将来の望ましい学校づくりの一環」などという一般論で人心を諭すのではなく、各所の人心と状況を理解して進めるべきではないだろうか。
- ・通い慣れた小学校がなくなるのはさみしいが統合止むなしと感じている。
- ・小学校統合に関して、まず統合を回避するための方策を検討し、結果として「統合やむなし」とする場合、そのために必要なプロセスを丁寧に進めるべきと考える。
- ・公共施設マネジメント事業計画の中で、小学校統合に関する議論が進められていることもあり、他の公共施設、いわゆるハコモノと同列に議論されることに若干違和感を覚える。学校は単なるハコモノではなく、その点が他の公共施設とは異なると思われる。地域の未来を考えた場合、それを支える人材育成こそが最重要課題といえ、その中で教育機関の果たす役割は大きいといえる。そのため教育こそが最優先の投資分野といえ、単にコストのみで語られるべきものではなく、その効果にも十分目を向ける必要があるといえる。戦略的投資分野として、教育の充実を考えた場合、小学校統合に関して再考の余地は無いだろうか。

## 【統合に向けた課題について】

- ・統合に向けて重要なことは「交通問題」だと考える。多くの児童が現在より通学距離が長くなり時間がかかることになるため学校予定地に至る通学路の安全の確保と整備が不可欠である。
- ・国道16号の横断については、横断箇所を数か所に絞り登校時間帯や低学年の下校時に交通指導員の配置や地域ボランティアの協力を得る。
- ・低学年の遠距離登校・防犯上の課題についてはコミュニティバスを活用する。
- ・長い距離を歩いての登下校は子どもの集中力がもたず、特に夏の暑い日は危険かなと思う。場所にもよるが、スクールバスがある親も子どもも安心できると思う。保護者が第一に考える事は安全な登下校だけだと思う。

### 【学校の環境について】

- ・統合しなければならないのであれば、他市の子育て世代も引っ越してくるような建物、設備、歴史ある特徴を活かした施設を求めたい。
- ・資料で示された「新学習指導要領」と「これからの小・中学校施設」などを実現し、入間市内の「さきがけ」としてモデルになれたらと感じた。
- ・2校の学区を合わせるととても広い範囲になるため子どもたちに負担がかかることとなる。統合せざるを得ないのであれば、新しい学校を教育面・環境面・安全面等に配慮したより良い小学校にして子どもたちに素晴らしい環境を作り上げてあげたいと思う。
- ・「とてもいい学校になったから、この方がよかったね」と子どもたちや地域の方々に行ってもらえるような学校にしていくことにより、この統合の価値を高めていくことが必要と考える。
- ・子どもたちには安心して安全な環境で勉強に励んでもらいたい。

### 【災害対策について】

- ・自然災害が多発している中で、入間市においても風水害や大地震がおこるなどいろいろ見通さなくてはならない。宮寺小学校と狭山小学校が統合された場所が安全で安心な場所なのか、防災のために機能するのか。子どもたちが中心なので安心して安全な環境で勉強に励んでもらいたい。

### 【会議の進め方について】

- ・第4回会議迄の中で見直すことはあるか、学校用地の選択についての進捗状況、統合に関する資料を送付し、その事柄について意見を述べる形が良い。新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたら元の形で会議を進めていければ良い。
- ・保護者の意見が少ないように思う。もっと思いを集めてその意見を反映して欲しい。
- ・この会議は小学校統合についての会議であり、学校の統合に絞り込んで討議を進め、計画の進行のスピードを上げてほしい。
- ・地元議員さんにも会議に出席していただけないだろうか。委員以上に知識があり地元の方々からも様々な意見を聞いていると思う。
- ・学校統合に向けて必要なプロセスとして地区検討会議が存在すると認識しているが、会議では「初めに結論ありき」で議論が進められているような印象をもつ。結論つまり「統合小学校を中間地点に建てる」、それに合わせて会議のテーマが設定され、説明のために資料が準備され、全て行政サイドのペースで検討が進められている印象を受ける。

### 【資料について】

- ・資料5-1、5-2については専門家（各先生方）の意見を反映するのが望ましい。
- ・資料5-1、5-2は新しい学習指導要領に沿った理想とする学校のあり方を一般的に示したものであり、統合に関する協議資料として余りに筋違いで飛躍しすぎた資料ではないだろうか。地域の人々はもっと現実的な経験資料を求めているのではないだろうか。

### 【質問】

- ・跡地について、狭山小学校は売却、宮寺小学校も1/3は土地所有者へ返却となった場合、施設を利用してスポーツなどを行っている団体は今まで通りの活動ができなくなったりするのか。  
⇒新たに整備する小学校や周辺の施設を活用することにより活動を継続していただけるものと考えております。

なお、狭山小学校の跡地については、売却する計画でありますが、地域における役割や体育館の活用を考えていく中で詳しい取り扱いを検討していきます。また宮寺小学校の土地について、借地部分は土地所有者に返却しますが、市有地部分は活用方法を検討していきます。こうした検討において、各種団体の活動の継続という視点は重要なものと認識しております。